

きらめき

kirameki
Yamaguchi

2019 October
Vol.145

山口県看護協会報



私たちは、患者さんとともに職員一致協力し、絶えず自己研鑽に努め、温かく思いやりのある保健・医療・福祉サービスを実践いたします。



萩市民病院 / 〒758-0061 萩市大字椿3460-3



あなたのしたい看護を見つけませんか。

当院は病院の理念に「進取の気性をもって」を掲げています。慣習にとらわれず職員が一致協力をして温かく思いやりのあるサービスを実践しています。

看護部長 宮内美智代



令和元年度 公益社団法人山口県看護協会通常総会を終えて

専務理事 金子 恵子

通常総会は6月16日(日)に、代議員182人を含む313人が出席。10時より開会式が行われ、西生敏代会長の挨拶、知事表彰及び今年度より新しく制定された山口県看護協会会長表彰、来賓祝辞等が行われた。西生会長は、開会のあいさつで、「令和元年度の重点方針につきましては、昨年度の事業成果を踏まえ、前年度の枠組みを踏襲することとしながら、協会の皆様とともに、行政、関連団体・機関間の連携も深め、住民の皆様にも最も身近な専門職として、社会変革に対応し地域の皆様が安心して、その人らしい生活を営む社会の一助となれるよう取り組んでまいりたい」と述べた。

議長団選出後、報告事項1「平成30年度事業報告」、提出議題の第1号「平成30年度決算報告(案)及び監査報告」、第2号議案「令和元年度改選役員及び推薦委員の選出」、第3号議案「令和2年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出」の提案があり承認された。午後からは「令和元年度事業計画」、「令和元年度収支予算書」の報告があり、重点方針として、Ⅰ地域包括ケアにおける看護力の強化と連携、Ⅱ看護職の就業と定着の促進、Ⅲ看護の質の向上とキャリア形成の推進、Ⅳ組織の強化に取り組むことが報告された。

総会終了後、昨年度、岩国・長門・下関の3支部で実施した「在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業」報告会を開催した。



叙勲受章者の紹介

2019年 春の叙勲

瑞宝双光章 医療型障害児入所施設「鼓ヶ浦こぼと園」 看護師 木村 美津子 様
瑞宝単光章 元山口大学医学部附属病院 看護部長 猪上 妙子 様

山口県看護協会会長表彰者の紹介

令和元年度より新たに、多年にわたり山口県看護協会会員として看護の発展に貢献された方の功績をたたえることを目的に、会長表彰を制定いたしました。初年度は9名の方が受賞されました。

おめでとうございます。今後とも看護の発展のためご尽力いただきますようお願いいたします。

受賞者

池端洋子様 伊藤悦子様 岡本加代子様 小野和代様 金子恵子様
曾我部美子様 高杉敏子様 長岡美智子様 吉村真理様



令和元年度 役員紹介

令和元年度の役員を紹介します。

本協会の事業推薦のため、
会員の皆様のご協力をお願いします。

令和

REIWA
new era name

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
会長	西生 敏代	保健師職能理事	片瀬 智恵	地区理事	石田 美江	監事	下瀬 茂美
第一副会長	山本多賀子	助産師職能理事	藤谷 圭子	地区理事	紙 直子	監事	上河内一枝
第二副会長	有田 稔子	看護師職能理事	折込 沙世	地区理事	大林 幸恵	監事	嶋谷 克美
第三副会長	小西 恵	全区理事	出見 知子	地区理事	花島 まり		
専務理事	金子 恵子	地区理事	早瀬 敏子	地区理事	河野真理子		
常務理事(庶務)	山下美由紀	地区理事	守田 教子	地区理事	丸山千恵乃		
常務理事(会計)	江藤 京子	地区理事	永富喜代子	地区理事	古本たつ子		

新役員 あいさつ



第二副会長 有田 稔子

看護職に求められる役割が多様化・拡大する中、その機能を十分に発揮し、地域社会の要請に答えていけるよう、第二副会長として看護協会の活動に尽力して参りたいと思います。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



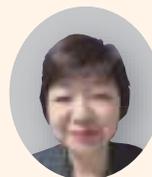
専務理事
金子 恵子

専務理事として2期目となります。昨年度は支部長さん方のご協力を頂き、支部運営規程の改正と内規を定めることができましたが、公益移行後6年を経過し、今後に向けて組織力の強化が課題となっています。皆様のお力添えをよろしくお願いたします。



常務理事
山下 美由紀

常務理事として2期目を拝任いたしました。地域包括システムのキーパーソンである看護職には、健康で安全に、そして働き続けられることが求められます。看護職が専門性を発揮し活き活きと活動できるよう活動基盤における課題解決に向け努力したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



常務理事
江藤 京子

この度、常務理事(会計)を務めさせていただくことになりました。予算執行に関することが職務となります。会務運営が円滑に進められるよう取り組み、協会活動に貢献できるよう精進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



保健師職能理事
片瀬 智恵

保健師職能理事として、地域包括ケアの推進や健康なまちづくりを牽引するキーパーソンの役割を期待される保健師の活動につながるよう、皆様と取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



全区理事
出見 知子

この度全区理事を務めさせていただくことになりました。役の重さに重責、不安を痛感していますが、未熟ながら看護協会活動に取り組んでいきたいと思っています。任期期間中ご指導のほどよろしくお願いいたします。



監事
下瀬 茂美

この度、監事を務めさせていただくことになりました。微力ながら看護協会の事業推進のため、力を尽くして参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

支部長は理事会において選任された地区の理事が務めます。支部長の役割は支部活動の運営のほか、県と支部、会員をつなぐ橋渡し役を担います。

支部長紹介

岩国支部

支部長 早瀬 敏子

(国立病院機構岩国医療センター)



今年度より支部長の任をお受けすることになりました。在宅療養支援の連携推進・強化事業が軌道に乗り、地域住民のニーズに応えていけるよう取り組み、活気ある支部活動を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

柳井支部

支部長 守田 教子

(光輝病院)



今年度より支部長の任をお受けすることになりました。地域に密着した支部活動を行うために、役員・会員の皆様と協力して取り組んでいきたいと思っています。

よろしくお願いします。

周南支部

支部長 永富 喜代子

(周南市立新南陽市民病院)



支部長として2年目を迎えました。役員、委員、会員の皆様と力を合わせ、支部活動を盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願いします。

防府支部

支部長 石田 美江

(山口県立総合医療センター)



今年度より支部長の任をお受けすることになりました。地域の実情に沿って、地域を意識した看護職の連携を支部役員、会員の皆様と力を合わせ取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

宇部支部

支部長 紙 直子

(山口大学医学部附属病院)



支部長として2年目を迎えました。「地域ケアサービスの内容を検討し、充実させる」を今年度の活動目標に、支部役員・委員と協力して活気ある支部活動を行って行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

小野田支部

支部長 大林 幸恵

(山口労災病院)



創立70周年おめでとうございます。支部長2年目も、暮らしというフィールドに立ち、求められている看護のかけがえのないよう支部活動に取り組みたいと思います。役員・会員の皆様よろしくお願いします。

長門支部

支部長 花島 まり

(長門総合病院)



支部長として2期目を迎えました。本年度も県協会と地域の看護職と連携して、さらに地域に密着したニーズに応えられる活動を行っていかうと思っています。どうぞよろしくお願いします。

萩支部

支部長 河野 真理子

(萩市民病院)



支部長として2年目を迎えました。支部活動にあたり会員の皆様方のご協力、感謝申し上げます。今年も地域の皆様に求められる看護職を目指し、「顔の見える看護職連携」で地域に貢献していきたいと思っています。よろしくお願いします。

豊浦支部

支部長 丸山 千恵乃

(山口県済生会豊浦病院)



今年度より支部長の任をお受けすることになりました。地域の方々の健康保持増進に向け看護職が「顔の見える連携」の強化に取り組み、活動してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

下関支部

支部長 古本 たつ子

(安岡病院)



支部長初年度は多くの方々との出会い、改めて地域のことを学んだ1年でした。会員皆様のご協力にも心から感謝申し上げます。今年は、看護職のつながりをさらに強固なものにできる様、任期いっぱい努めてまいります。

令和元年度職能集会

看護師職能集会報告

● プログラム

と き：令和元年6月22日(土) 10:00~12:00
と ころ：山口県看護研修会館 新館2階第1研修室

● 報 告

平成30年度山口県看護協会看護師職能委員会I部・II部事業報告
I部 クリニカルリーダーに関する活動報告
II部 交流会報告
2019年度 日本看護協会全国職能交流会報告
令和元年度 山口県看護協会看護師職能委員会I・II事業計画

● 基調講演

テーマ「看護師が、いきいきと働き続けるために」～看護師さん、ちょっと気楽にいきましょう!～
講 師：Voice Academy CORDE代表 白松 あつ子氏



令和元年度を迎え、初めての看護師職能集会の開催であり、63名の参加がありました。昨年度は、3職能合同集会を開催し、「つなぐ」をキーワードに、各職能の立場から現状や課題について4名のシンポジストにご講演を頂き、地域包括ケアのあり方について考える機会となりました。

そして、今年度の基調講演は、元TYSアナウンサーである白松あつ子氏をお招きし、「看護師がいきいきと働き続けるために」～看護師さん、ちょっと気楽にいきましょう!～というテーマでご講演して頂きました。地域包括ケアの充実に向けてあらゆる場での活躍が期待されている看護師は、仕事のストレスや疲労感が強く、そして、日々、真摯に仕事に向き合う中、多くの葛藤を抱えています。だからこそ、「時には、ちょっと肩の力を抜いて、気楽に生き、進んでいきましょうよ!」というメッセージ性を込めた講演テーマといたしました。

講演では、職場は仕事をする場所であり、友達を作りに来るところではなく、そのための準備として、みる力・聴く力・自己開示力・話す力を磨き、コミュニケーション能力を高めることが大切であること。方法としては、いい言葉は書きとめ口に出してみる、人のいいところを盗む、褒められたら褒め返す、俯瞰から自分を見て自分をデザインし、自分が考える「かっこいい人」を演じて見ることが大切であると語られました。また、自身の経験から女性の職場で働くための注意点についてのお話があり、大変共感すると共に、今後の日常業務の中で活かしていきたいと思える講演内容でした。

今後も、職能委員会の機能である意見集約・課題発見・発信に努めて参りたいと思いますので、引き続き委員会活動へのご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

助産師職能集会報告



令和元年7月7日(日)に助産師34名が集い、令和元年度助産師職能集会が開催されました。事業報告のあと、大阪大谷大学の井上寿美先生の特別講演「『困難な状況にある』親への支援～地域精神医療の実践をふまえ精神的に不安定な保護者への支援方法を考える～」がありました。特に「7つの当事者へのかかわり姿勢①当事者の主体性尊重②当事者の主観的事実重視③当事者への温かい関心④当事者との協働⑤当事者に関わる周りの人との協働⑥当事者に向けた自己開示⑦当事者との関係をととした自己省察」の大切さを強調されました。受講者からは、先入観を持たず相手を理解し関わる事が大切、7つの関わりを大切にしていきたい、寄り添うというのは奥深い、似たような事例があり参考になった等の感想が寄せられました。周産期における母子のメンタルヘルスケアの理解を深め、支援方法を学ぶことで、「妊娠期から子育て期まで切れ目のない看護・助産機能の強化」の推進を図る助産師職能集会となりました。



令和元年6月22日(土)に保健師職能集会が開催されました。34名の参加者のもと、保健師職能委員長から平成30年度の活動報告・令和元年度の事業計画を報告後、「公衆衛生と保健師活動」と題して、山口県立総合医療センターへき地医療支援部の中嶋裕先生にご講演いただきました。

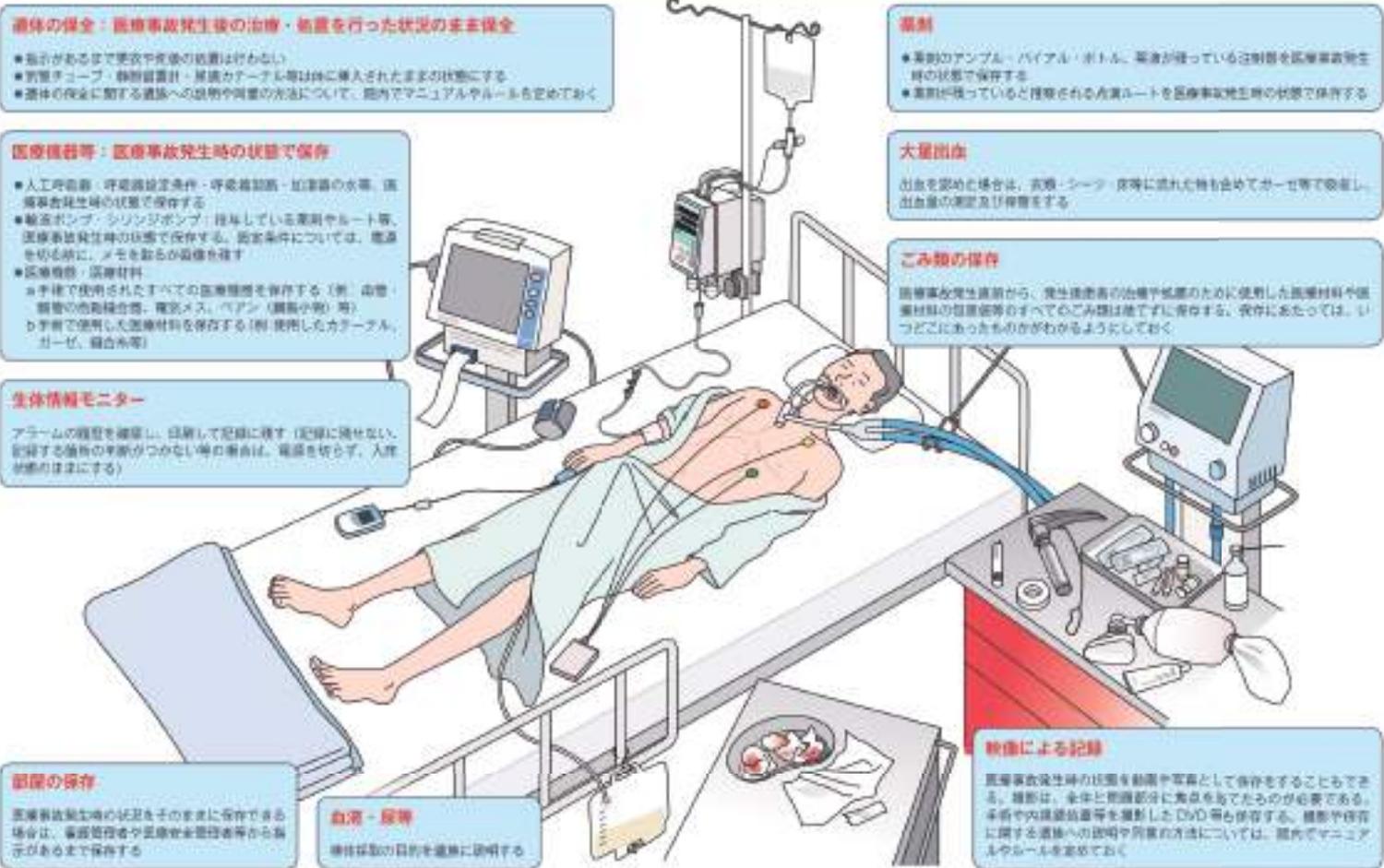
先生は、周南環境保健所長時代の公衆衛生医としてのお立場、県立総合医療センターで担われているへき地支援、特に萩市の離島、大島診療所では市保健師との連携、見島診療所での、最後まで自宅で過ごしたいという住民の希望をかなえる看取りの関わり等住民に寄り添った地域医療活動のご体験から、今、保健師が地域で担うべき役割についてのご提言をいただきました。先生の地域医療に対する熱い思いをお聞きし、地域保健活動の第一線で働いている保健師としてたくさんの元気をいただきました。

次に、保健師カフェでは、中間管理職のグループで情報交換をしました。統括保健師が条例に制定されたところや職位として位置づけられたところなど、徐々ではありますが、統括保健師が充足されているようです。統括保健師の数が増えることを望んでいます。顔の見える関係づくりを基本として地域づくりを実行してきた保健師職能ならではの会でした。来年の職能集会での再会を合言葉として解散しました。

医療安全推進委員会から  **No. 42 医療安全情報**

医療現場で働く私たちは、予期せぬ死亡に遭遇するかもしれません。遭遇した際には、現場保全が必要です。「必要だったのに捨ててしまった」ということがないように、事例に関する情報を確実に保存することが重要です。

現場保全の例



遺体の保全：医療事故発生後の治療・処置を行った状況のまま保全

- 処置があるまで更衣や洗滌の処置は行わない
- 別室チューブ・静脈留置針・尿管カテーテル等は体に挿入されたままの状態にする
- 遺体の保全に関する連絡への説明や同意の方法については、院内でマニュアルやルールも定めておく

医療機器等：医療事故発生時の状態で保存

- 人工呼吸器、呼吸器設定器、呼吸器補助具、血液器の水準、医療器具発生時の状態で保存する
- 輸送ポンプ、シリンジポンプ：稼働している薬剤やルート等、医療事故発生時の状態で保存する。異常条件については、電源を切った時に、メモを貼るが設備を壊す
- 医療機器、医療材料
 - 手術で使用されたすべての医療機器を保存する(例：歯車、調整のボルト締め具合、電圧メス、ペアン(調整が効)等)
 - 手術で使用した医療材料を保存する(例：使用したカテーテル、ガーゼ、縫合糸等)

生体情報モニター

アラームの音量を確認し、記録して記録に残す(記録に残せない、記録する場所の手数がつかない等の場合は、電源を切らず、入院状態のままにする)

薬剤

- 薬剤のアンブレ、バイアル、ボトル、薬液が残っている注射器を医療事故発生時の状態で保存する
- 薬剤が残っていると推察される点滴ルートを医療事故発生時の状態で保存する

大量出血

出血を認めれば、衣類・シーツ・皮膚に染れた物も含めてガーゼ等で吸出し、出血量の測定及び保管をする

ごみ類の保存

医療事故発生直前から、発生直後の治療や処置のために使用した医療材料や医療材料の包装袋等のすべてのごみ類は捨てずに保存する。保存にあたっては、いつどこにあったものかわかるようしておく

記録の保存

医療事故発生時の状況をそのままに保存できる場合は、看護記録や医師発生記録等から指示があるまで保存する

血液・尿等

検体採取の目的を連絡に説明する

転倒による記録

医療事故発生時の状況を動画や写真として保存することもある。撮影は、全身と患部部分に焦点を当てたものが必要である。手術や内服薬投与等を撮影したDVD等も保存する。撮影や保存に関する連絡への説明や同意の方法については、院内でマニュアルやルールも定めておく

出典：医療に起因する予期せぬ死亡または死産が発生した際の対応
発行：公益社団法人 日本看護協会

委員会活動



災害支援委員会

委員長 木村 直也

私たち災害支援委員会は主に災害支援ナースの育成・教育と一般市民への平時の防災意識向上のための広報活動を行っています。山口県の災害支援ナース登録数は約360名と全国的にも多く、会員の皆様の災害看護に対する関心も年々高まっていると感じています。私たち災害支援委員会も災害支援ナースの育成研修、継続教育のためのフォローアップ研修を充実した物とし、災害支援ナースの質の維持・向上が図れる様日々努力しています。また、一般市民への広報活動として毎年行われる県の総合防災訓練では山口県看護協会のブースを出展し、災害時の看護協会の対応・活動実績の広報を行うとともに、応急処置や公衆衛生指導の一環とした啓蒙活動も行っています。今年度は岩国市で実施され、手指衛生体験、BLS体験とパネル展示を行い大いに賑わいました。これらの活動を今後も継続して行い、看護師・一般市民の災害に対する意識を高めていける様に頑張っていきます！



医療安全推進委員会

委員長 長松 美幸

●医療安全管理者養成研修

当委員会は、医療現場の医療安全管理を効果的に行うことのできる医療安全管理者を養成することを目的とし、7日間(45時間)の医療安全管理者養成研修の企画・実施および評価を行っています。2011年度から開始した医療安全管理者養成研修の修了者は477名となりました。研修内容は、医療安全分野における著名な先生による講義・グループワークです。研修最終日のグループワークで自己課題を見出し、フォローアップ研修で達成度の確認と評価を行います。

●医療安全管理者スキルアップ研修

本研修は、医療安全管理者および医療安全管理者養成研修の修了者が対象で、モチベーションの維持と実践能力を向上させることを目的とした研修です。2019年3月には、琉球大学医学部附属病院 地域医療部の、臨床倫理士 金城隆展先生を講師にお招きし、「医療倫理と医療安全」というテーマで開催しました。アンケートには多くの意見・感想が寄せられ、大変評価の高い研修となりました。



金城先生と委員

●広報活動

会報「きらめき」には『医療安全情報』を掲載しています。また、「看護職あなたのためのリスクマネジメント」を改定し、新版として第5版を発行しました。看護職の皆さんに幅広く活用して頂きたいと思います。

私たち医療安全推進委員会は、今後も、医療安全管理者の養成・質向上をはじめとした、医療安全管理の推進に努めていきたいと思っています。



岩国支部の活動紹介



在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業

岩国医療圏の病院・訪問看護ステーション・施設・行政の看護職の連携強化を図るため、研修会を3回開催しました。櫃本真幸先生に「生活を分断しない生活に戻すための看護一元気高齢者の育成支援に向けて」の講演をしていただき、最大の合併症は生活に戻れないことであり、生活に戻すための支援強化が必要であることを学びました。現在、病院看護師が提供する情報と在宅支援者が欲しい情報に差があるため、『(仮)在宅療養支援看護情報提供書』を作成し、運用について協議しています。また、医療介護連携ネットワークシステム「いつつばし連絡帳」の活用で連携構築を検討しています。



支部交流会

平成30年12月22日(土)、岩国地域看護交流会で“お正月飾り&ランチ”をマウンテンカフェで開催しました。どこに飾ろうか?など想像力を働かせて個性豊かな作品に仕上がりました。窓から水辺を眺めながら懐かしい人達との会話で和やかなひと時を過ごしました。



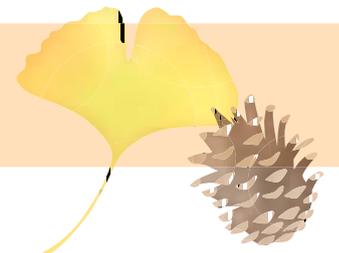
3支部合同マネジメント研究会

平成31年2月9日(土)、岩国医療センター研修センターにおいて3支部合同看護マネジメント研修会を開催しました。12の演題で周南支部65名・柳井支部48名・岩国支部58名の参加者がありました。「3支部合同で演題も多く、他職種と協働した発表も聞け、様々な場所で活用できる演題だった」など、次回に繋がる貴重な意見や感想を頂くことができました。

今後も様々な場所で働く看護職が連携を図り、地域住民のニーズに応えるよう支部活動に取り組んでまいります。



周南支部の活動紹介



管理者交流会

7月6日(土)周南支部集会終了後、管理者交流会を行いました。新米から3年目までの副師長さんや師長さん20名の参加がありました。お茶しながら日頃の悩みや思いを言葉に表現し、聴いてもらい、最後は笑顔で今後のつながりを約束して終わりました。



まちの保健室

平成28年から年9回「サンリブ下松」でまちの保健室を開催していました。地域の皆様は毎回楽しみに待っておられ、健康チェックを受けていただきました。令和元年8月からは、開催場所を変更し「イオンタウン周南」で開催しています。多くの方に来場いただき、健康相談や健康チェックを受けていただきたいと思います。

リレーフォーライフジャパン2019やまぐち

<リレーフォーライフジャパン2019やまぐち＝「がん征圧・患者支援」>の開催が周南市陸上競技場で10月5日から6日にかけて開催されます。29年度は台風のため中止、30年度はまたもや台風のため、初日の午後のみ開催され、リレーウォークに何とか参加しました。今年度は必ず晴天に恵まれることを祈るばかりです。



周南支部は会員数1,688名です。令和元年度は新たに在宅療養支援事業に取り組みます。周南、下松、光市の看護職のみなさんと共に、地域の皆様のニーズに答えられるよう活動を行っていきます。岩国、柳井、周南3支部合同看護マネジメント研究会を令和2年2月に周南で開催予定です。多数参加ください。



小野田支部の活動紹介

小野田支部は、人口約63,000人で高齢化率31.4%の山陽小野田市と、人口約25,000人で高齢化率は40%の美祢市に在住・勤務している看護協会の会員620名から構成されています。昨年より小野田支部では、これまで病院看護を中心に活動してきた看護師が、「暮らし」というフィールドに立ち、これまでになかった看護のかたちを実現させようと活動してまいりました。今年度も引き続き積極的に活動していこうと考えています。

2019年度 支部活動目標

- 地域包括ケアシステム推進の一助となるよう地域に密着した事業を展開する
- ・支部看護職へ教育研修を実施し、質の向上を図る
 - ・地域活動を通して地域の人々の健康を支援する

教育研修会

あらゆる場で活躍するためには、看護の質を向上させなければなりません。病院内で開催する強みとして「演習」を中心に認定看護師を講師に研修を計画しました。

2019年8月31日(土) 13:00~16:30 摂食・えん下研修

2020年1月25日(土) 13:00~16:00 ポジショニング研修



地域活動

地域会議での多職種との情報共有や連携を支部活動に還元し、地域の実情に合わせた健康相談や啓発活動ができるような地域活動を計画しています。

支部交流会

2019年7月6日(土) 13:00~15:00 「こころと身体をリフレッシュ」をテーマに元気に長生きする為の講義とストレッチを行いました。支部会員のみなさんと笑いながら体を動かし、自身の健康を見直す良い機会になった交流会でした。



国際助産師の日&看護の日合同イベント

令和元年5月11日(土) 恒例となった国際助産師の日、看護の日のアピールイベントを開催いたしました。50人の可愛い赤ちゃんからチビっ子たちが、成長記念の手形・足型取りに訪れ、健康チェックは9つのコーナーに延べ685人の方が立ち寄られました。



在宅療養支援に係る看護職の連携推進と強化事業

平成31年2月1日(金)「患者・家族の思いをかなえる退院支援～楽しくつなごう看々連携～」というテーマで、第2回目の研修会を開催しました。病院47名、訪問23名、行政12名の合計79名の参加者でした。訪問看護から「百聞は一見にしかず」で在宅療養の現状について情報提供をしてもらい、その後、実際の事例をもとに退院支援のグループワークを行いました。「病院での指導だけでは想像できない事を沢山教えてもらった。」「顔の見える関係は大事、積極的に連携をとっていきたい。」との声が聞かれ、研修の手ごたえを感じました。今年度、さらに発展させていきたいと思えます。

医療介護ネットワーク合同研修

平成31年2月23日(土)「入院時から始める退院支援」というテーマで、医療・介護ネットワーク合同研修会を開催しました。多職種167名、その内看護職は68名の参加でした。急性期病院の緊急入院症例を取り上げ、退院支援CFのロールプレイを行いました。「在宅療養を生かすも殺すもケアマネ次第」との意見や、今、お薬手帳に担当ケアマネが名刺を貼っているというキャンペーンが紹介されました。



ハローワーク山口・下関合同開催/令和元年度 看護職就職面談会

- 山口地域**
- ・日時：10月18日（金）
（受付）13：45～15：00
（開催）14：00～15：30
 - ・場所：パルトピアやまぐち（防長青年会館）
2階 大ホール（山口市神田町1-80）
 - ・参加施設：山口市内の求人施設

- 下関地域**
- ・日時：11月6日（水）
（受付）13：30～
（開催）14：00～16：00
 - ・場所：下関市社会福祉センター
4階 大ホール（下関市貴船町3丁目4-1）
 - ・参加施設：下関市内の求人施設

・申込方法：参加申込書をナースセンターへFAXまたは郵送してください。
（参加申込書は、山口県ナースセンターのホームページからダウンロードできます。）
当日参加も可能です。

※面談会は対面方式です。複数施設の求人担当者と直接お話ができます。
皆さんの参加をお待ちしています！

令和元年度 看護の魅力発見

「看護の魅力発見」では、看護の魅力についてお伝えすることはもちろんのこと、身近な病院で看護について学べる機会を提供することで看護職を身近に感じてもらい、また、地元の小学生・中学生・高校生とのつながりを深めていく中で看護職の確保や県内定住につなげていきたいと思っています。

実施予定

地域	開催日時	イベント名	会場	お問合せ先
下関地域	R1年 9月28日(土) 10:00～12:00	市民病院フェスタ	下関市立市民病院	下関市立市民病院 083-231-4111
	R1年10月19日(土) 10:00～14:00	健康応援祭	国立病院機構 関門医療センター	国立病院機構 関門医療センター 083-241-1199
柳井地域	R1年10月26日(土) 10:00～15:30	周東総合病院 病院祭	周東総合病院	周東総合病院 0820-22-3456
宇部地域	R1年10月19日(土) 9:30～13:00	「夢」フェスタ	国立病院機構 山口宇部医療センター	国立病院機構 山口宇部医療センター 0836-58-2300
小野田地域	R1年11月17日(日) 9:30～15:00	SOS健康フェスタ	厚狭地区複合施設内体育館 ※SOS健康フェスタ会場	山口労災病院 0836-83-2881

求人・求職のご相談は、山口県ナースセンター（無料職業紹介所）をご利用ください。

TEL：0835-24-5791 / FAX：0835-28-9688 / E-mail：yamaguchi@nurse-center.net

e ナースセンター（無料職業紹介サイト）

<https://www.nurse-center.net/nccs/>

とどけるん（看護師等の届出サイト）

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し応援します。

「地区活動の面白さを伝えたい！」

山口県立大学看護栄養学部
教授 藤村 孝枝 さん

プロフィール

★家族構成：今は、夫と2人暮らし

★血液型：A型

★趣味：文房具を見て、使って楽しむ

機能的に優れたものだけでなく、疲れた時に、ほっとさせてくれる「癒し系」文房具もお気に入り



山口県立大学の公衆衛生看護学領域のスタッフとともに。

右から2番目が藤村孝枝さんです。

保健師活動の原点

県の保健師として勤務している時に、国立公衆衛生院（現国立保健医療科学院）に1年間の研修に行き、長野県の松川町で「健康学習」に出会いました。健康教育は、住民に必要な知識をいかにわかりやすく伝えるかが重要だと思っていましたが、松川町では、保健師が教えるのではなく、住民が自ら考える、保健師は住民の声を聴き、一緒に考えるというものでした。熊谷勝子保健師や松下拓先生の健康学習の場をみて、住民は、自ら気づくことができれば、住民自身で変わっていくことができるということを強く感じました。保健師の役割は、その住民の気づきを促すために、いかに支援するかであり、単なる知識の提供ではないと考えています。

保健師教育の原点

防府市にあった山口県立衛生看護学院（衛看）で、1年課程の保健師教育に携わり、「ここまで教育をするんだ！」と驚きました。同時に、自分が受けてきた大学の保健師教育の不十分さを実感しました。衛看の教育は、住民と一緒に地域で活動し、地区活動のおもしろさを実感できるもので、こんな保健師教育を大学でもぜひやりたいと思いました。

保健師教育で大切にしていること

先に述べた松川町と衛看での経験を通して感じたことが、現在の大学での保健師教育の礎となっています。大学のカリキュラムの中では、衛看のように継続的に住民と一緒に活動する時間を持つことは難しいのですが、実習では、見学で終わらず、地区活動の中で住民と関わることを大切にしたいと考えています。

そのための仕掛けの一つが「健康教育」です。実習市町、保健所のご協力の下、実習で学生たちは、学内で学んだ健康学習の考え方をもとに、地域住民に対する健康教育を行う機会をいただいています。計画段階から、指導保健師にご助言をいただきながら、学生たち自身が計画し、実際に住民の方を対象に実施、評価を行う過程を通して、学生たちが主体的に住民と関わり、地区活動を体感することにつながっていると感じています。

保健師へのメッセージ

最近の保健師さんたちは、忙しさに忙殺されているように見えます。そんなときだからこそ、「立ち止まって、考える」ことを大切にしてほしいと感じています。大学院は、そのための良い機会です。積極的に活用してください。また、職場を離れて参加する研修も上手く使って、考える機会にしていってください。

インタビューを終えて

松川町でのご経験を熱く語られる先生を見ながら、あらためて自らの「保健師」としての原点はどこにあるのかを考えました。日々の活動で悩んだ時には、そこに立ち返ってみることも必要だと感じました。

県職能委員（吉村）



助産師だより

Vol.11

幸の鳥
Kohnotori

助産師職能委員会では、助産師の活動を皆様にご覧いただくため、情報だよりを掲載しております。

産後ケア事業で切れ目のない支援を

「産後ケア事業」は市区町村が実施し、分娩施設退院後から一定の期間、病院、診療所、助産所、自治体が設置する場所（保健センター等）又は対象者の居宅において、助産師等の看護職が中心となり、母子に対して、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み母子とその家族が、健やかな育児ができるよう支援することを目的とした事業です。



山陽小野田市民病院の取り組み



山陽小野田市は2018年4月から事業を開始し、2019年7月に山陽小野田市民病院で初めて産後ケアが実施されました。家族等から育児等の十分な援助が受けられない産後6日目のお母さんが6日間ショートステイを利用されました。アドバンス助産師を中心に育児指導、乳房ケア、心理的支援を行い、育児不安が強かったお母さんが「何とかかな」と笑顔で自宅に戻られました。今後も出産後のサポートが必要なお母さんが、安心して子育てができるよう各機関と連携して切れ目のない支援をしていきたいと思っております。



平成最後の セカンドレベル認定看護管理者教育課程を受講して

周東総合病院 福字 洋子

平成30年度のセカンドレベル認定看護管理者教育課程を受講し、早いもので1年が経とうとしています。自身の課題にどう取り組むかを意見交換しながら考え、講師の方々から多くの学びを得ることで課題の本質を見出すことが大切であることを学びました。

県内の他施設の受講生と机を並べ、講義やグループワークを通して自分の立ち位置や組織のこと、地域のこと、国の政策などを考えながら話し合う機会が持てたことは、私の看護人生の大きな糧となっています。

特に講師の方々の生き生きとしたお話から、それぞれの信念とも言える熱いものを感じ、講義の内容はもとより、人に語れる強いものを持たれていることに感銘を受けました。「ナラティブ」という言葉をよく聞きますが、「これだなあ」と実感しました。講義の端々において自分の言葉で語られた思いの中に十人十色の考えや価値観があり、私の「あるべき姿」へのヒントをいただいたような気がしました。私も自分の思いを語り、どうあるべきかをスタッフと話し合う機会を持つことが大切であると改めて感じました。

また、病院理念や看護部理念が組織の道しるべであり、自分の置かれている場所や立場で課題を読み解き、取り組んでいくことが組織の発展に繋がることを学びました。

40名の皆様とともに学べたこと、担当の先生方より支援を受けたことをこれからも折に触れ思い出し、励みにしたいと思います。



公益社団法人 山口県看護協会 創立70周年記念行事

山口県看護協会は平成30年に創立70周年を迎えました。また、平成24年に公益社団法人の認可を受けてから7年目を迎えることになります。

そこで創立70周年記念として今年度3つの事業を行います。

1. 新館3階 映像・音響装置の更新
2. 創立70年史「環（つながり）」発刊（2020年2月頃）
3. 記念講演

テーマ：「地域包括ケア時代に発揮する看護の力」

講師：公益社団法人 日本看護協会 会長 福井 トシ子氏

日時：令和元年 11月 30日（土曜日） 13:00～

場所：公益社団法人 山口県看護協会



Nursing Now キャンペーンの実施について ～看護の力で健康な社会を～

看護の力で健康な社会を！

ナイチンゲール生誕200年となる2020年末まで、日本看護協会・山口県看護協会は看護連盟とともに「看護の力で健康な社会を！」をテーマにNursing Nowキャンペーンを展開します。

5月11日には日本看護協会と厚生労働省の主催で「Nursing Now実行委員会」の発足式が開催されました。現在、参加32団体、後援13団体です。

- 目的
- ・社会の看護職への関心を深め、地位を向上する。
 - ・看護職が健康課題への取り組みの中心に立ち、人々の健康向上に貢献する活動を行う。
- この目的を達成するために 私たちも行動しましょう！！

一般社団法人 日本看護管理学会 日本看護管理学会例会運営助成事業 令和元年度 例会 in 山口

テーマ 看護職のキャリアを支える！つなぐ！生かす！
～特定行為研修等のスタートと看護管理者の視点～

基調講演：「今を知る！看護師の専門化に向けての動きと期待
～特定行為研修修了看護師・認定看護師・専門看護師～」

講師 / 大分県立看護科学大学 教授 藤内 美保

座長 / 山口県立大学看護栄養学部 教授 井上 真奈美

シンポジウム：特定行為研修等のスタートと現在の取り組みから

シンポジスト / ・今給黎総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 下前 百合香

・総合病院山口赤十字病院 看護部長 大林 由美子

・山口県健康福祉部 医療政策課調整監 菊池 実代

座長 / 山口県立大学看護栄養学部 教授 井上 真奈美

開催日時：令和元年12月21日（土曜日） 13:00～16:00

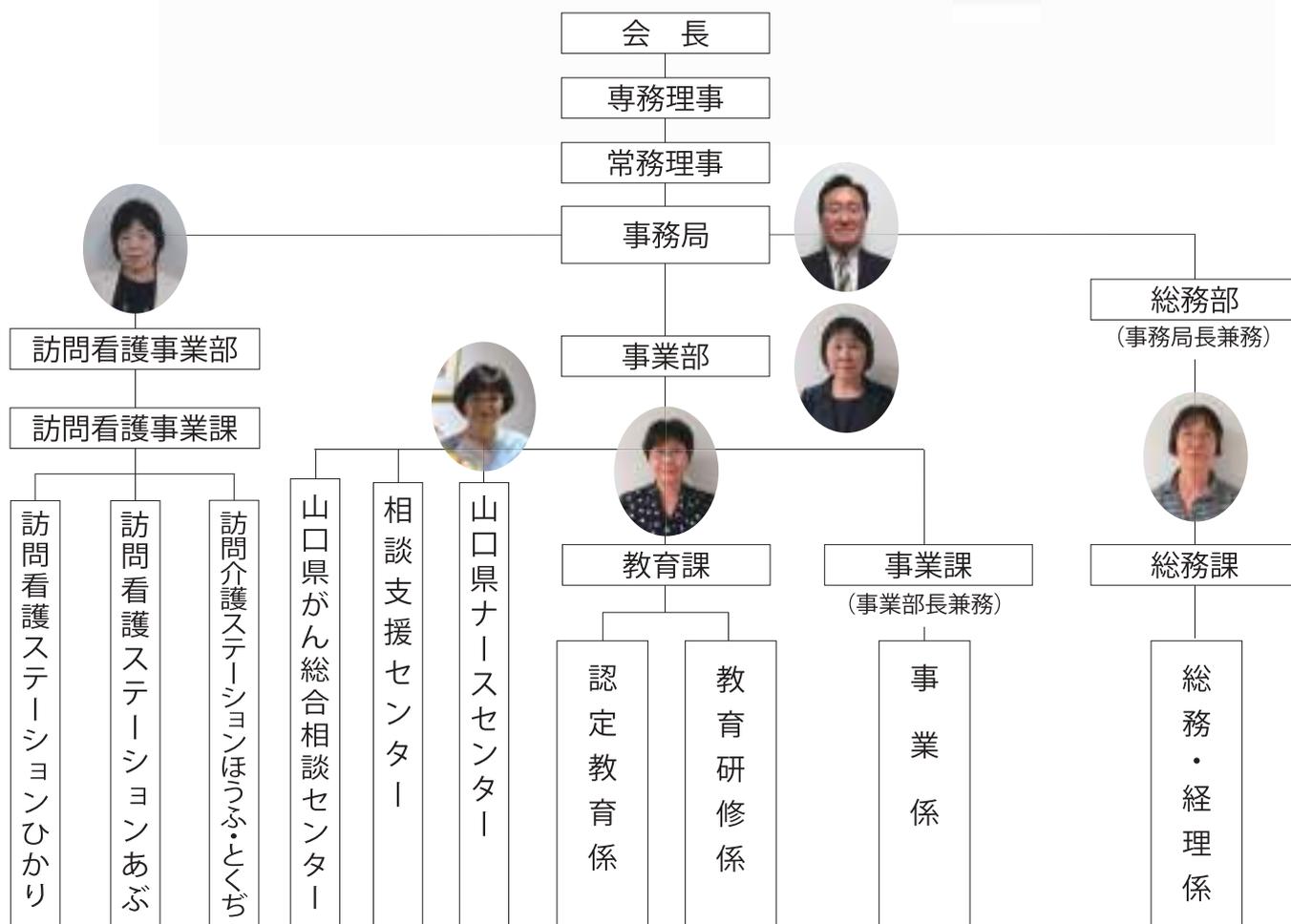
場所：公益社団法人 山口県看護協会

対象：看護職（会員 非会員を問わず）

費用：参加費無料



事務局紹介



支部Information

(10月~1月)

支部名	月日(曜日)	時 間	行 事 名	場 所	申込先・問合せ先
岩 国	11月21日(木)	19:00~20:30	コメディカル研修「救急看護について」	岩国市医療センター 医師会病院 4階講堂	安永彰子(岩国市医療センター医師会病院) TEL:0827-21-3211
	1月16日(木)	19:00~20:30	コメディカル研修「看取りを考える」 ~住み慣れた地域で暮らし続けるために~		
周 南	11月9日(土)	14:00~16:00	在宅療養支援事業・職能合同研修会 「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるためには」 講師:山口県立医療センターへき地医療支援センター長:原田昌範先生	徳山中央病院 11階 大会議室	永富喜代子(周南市立新南陽市民病院) TEL:0834-61-2500
防 府	10月12日(土)or19日(土)	10:00~15:00	国際助産師の日イベント	イオン防府	石田美江(山口県立総合医療センター) TEL:0835-22-4411
	12月7日(土)	13:00~15:00	看護研究指導	看護研修会館	
	10月19日(土)	9:30~15:30	愛情ほうふフリーマーケット 「まちの保健室」	天神ピア	
宇 部	11月9日(土)~10日(日)	10:00~15:00	市民文化祭「まちの保健室」	アスピラート	紙直子(山口大学医学部附属病院) TEL:0836-22-2681
	12月14日(土)	10:00~12:00	職能研修「暮らしに役立つ整理整頓に関する講話、ワーク」 講師:整理収納Alif天野貴美栄先生	宇部市保健センター	
小野田	11月17日(日)	9:30~16:00	SOS健康フェスタ「いいお産の日」	山陽地区複合施設	大林幸恵(山口労災病院) TEL:0836-83-2881
	1月25日(土)	13:00~16:00	「ポジショニング」研修 講師:WOC	山口労災病院 図書棟2階 講堂	
長 門	10月5日(土)	10:00~14:00	助産師祭り JAフェア	長門総合病院	花島まり(長門総合病院) TEL:0837-22-2220
下 関	11月9日(土)	14:00~16:00	医療介護ネットワーク合同研修	シーモールホール	古本たつ子(安岡病院) TEL:083-258-3711

WEBサイトの充実



- ・スマホで看護協会が主催する研修の日時や内容を検索しやすくなりました。
- ・今年度は様々な分野で41の研修を予定しています。皆さん、興味のあるテーマを見つけてどんどん研修を受講してみてください！
- ・キャリアナースにも登録して自分の研修受講の歴史を残しませんか？



山口県看護協会
トップページの教育研修をクリック
URL:<http://www.y-kango.or.jp/>



一般教育研修をクリック

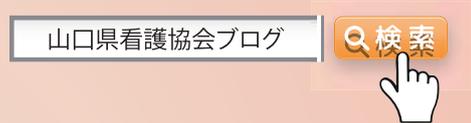


それぞれの研修の日時や内容が
確認できます。
申し込み用紙のダウンロードも
可能です。

メールやFAXで申し込み完了。レッツ トライ！



お知らせ ブログの紹介



山口県看護協会ではホームページで、楽しいブログを掲載していきたいと考えています。看護協会の会員であれば、どなたでも書くことができます。内容は仕事のこと、家族のこと、趣味のこと、最近気になることなどなんでも結構です。皆さんの日頃の出来事や考えていることをブログに乗せてみませんか？たくさんの看護職の声で充実した、更に楽しいページになるといいなと思っています。

書いてみたい方はメールで、本文、名前(ペンネーム可)、写真等を、下記の看護協会担当者までお送りください。

山口県看護協会 総務課 koho@y-kango.or.jp



看護協会ブログ

期間限定

サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド

無料ご招待

【会員とご家族様 対象】

期間中【2019年12月14日(土)~2020年1月13日(月・祝)】に限り

入園+アトラクション利用のパスポートチケット(通常1名3,000円)が無料! ※一部アトラクションは別料金となります。



最新のイベント情報はホームページをチェック!
ハーモニーランド



大分県速見郡日出町大字藤原5933
©'76,'91,'01,'05,'09,'10,'19 SANRIO

2019年 12月							2020年 1月						
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29							

ご利用方法

下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「山口県看護協会会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。

※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。
必ず、「利用申請書」「会員証」の2つを一緒に提示してください。
※企画内容・利用申請書の記載方法に関しては、協会窓口へお問合せください。
(TEL.0835-24-5790)

山口県看護協会 会員専用 ハーモニーランド 利用申請書(会員代表者を含む7名様まで)

対象期間 2019年12月14日(土)~
2020年1月13日(月・祝)

P321



会員番号	氏名	
利用申請者 (4歳以上の方) ※4歳未満の方は 無料となりますので 記入不要です。	氏名	氏名
	氏名	氏名

ご利用日 月 日 ご利用者合計数(4歳以上) 名様 ※お名前の記入欄が不足する場合は「利用申請書」をコピーしてご利用ください。

問合せ先

係	TEL	FAX	e-mail	
総務課(代表)	0835-24-5790	0835-24-1230	yamakan1@chive.ocn.ne.jp	
教育課	教育研修係		0835-24-5853	k-kensyu@y-kango.or.jp
	認定教育係		0835-28-8123	nintei@y-kango.or.jp
事業課	0835-28-7512		jigyuu@y-kango.or.jp	
山口県ナースセンター	0835-24-5791	0835-28-9688	yamaguchi@nurse-center.net nurse@y-kango.or.jp	
相談支援センター	0835-24-3593		sodan@y-kango.or.jp	
山口県がん総合相談センター	0835-28-7090		gsodan@y-kango.or.jp	

開館日・閉館日

- 山口県看護協会 事務局
開館日: 火曜日から土曜日 / 8:30~17:00 (図書室 / 9:00~16:30)
閉館日: 日曜日・月曜日・祝祭日
(但し、月曜日が祝祭日に重なった場合は翌日も閉館日になります)
- 山口県ナースセンター
開館日: 月曜日から金曜日 / 8:30~17:00
閉館日: 土曜日・日曜日・祝祭日

編集
後記

令和元年度より広報委員を任命されました4人です。おふたりの先輩の指導の下、皆さんに毎回楽しみ
にさせていただけるような「きらめき」を作っていきたいと思っております。これからの広報委員の活動を期待
していただきます。

(新委員: 柴田・住本・深水・山下)